

# 川崎市における大気中揮発性有機化合物調査結果（2010年度）

Atmospheric Concentration of VOCs in Kawasaki City (2010)

吉川 奈保子 Nahoko YOSHIKAWA  
 関 裕樹 Yuuki SEKI  
 小塚 義昭 Yoshiaki KOTSUKA

佐々田 丈瑠 Takeru SASADA  
 西村 和彦 Kazuhiko Nishimura

## 要旨

本市では、大気汚染防止法の常時監視項目となっている有害大気汚染物質の優先取組物質9物質を含む、同時分析可能な揮発性有機化合物44物質について1997年から継続してモニタリング調査を実施している。本報告は、2010年度調査結果をとりまとめたものである。また、2006年度から同時に測定している代替フロン類7物質についても2010年度調査結果をまとめた。

環境基準及び指針値が定められている優先取組物質は、測定を開始した1997年度以降、2005年度まで概ね減少または横ばい傾向を示している。最近5か年では、概ね緩やかな減少もしくは横ばい傾向を示しているが、最近3か年で若干の増加傾向がみられる物質もあった。2006年度及び2007年度は、ベンゼンについて1地点で環境基準が非達成であったが、2008年から3年連続で9物質すべてにおいて、全調査地点で環境基準を達成し指針値を下回った。

**キーワード：** 挥発性有機化合物、キャニスター採取、ガスクロマトグラフ質量分析、有害大気汚染物質  
**Key words :** Volatile organic compounds, Canister sampling, GC/MS analysis, Hazardous air pollutants

## 1 はじめに

1997年4月に大気汚染防止法が改正(1996年5月公布)され、地方公共団体は、有害大気汚染物質による大気汚染の状況を把握することとされた。

本市では、その中に示された「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」<sup>1)</sup>に基づき、測定方法が示された有害大気汚染物質について、市内4地点でモニタリング調査を計画的に実施している。

本報告は、このモニタリング調査の中で、公害研究所が測定を担当している物質及びそれと同時調査している物質の調査結果をまとめたものである。調査対象物質は優先取組物質9物質及びオゾン層破壊物質である特定フロン類4物質を含む、米国環境保護庁(以下、EPA)の規定する物質を中心とした計44物質の揮発性有機化合物である。また、2006年度から同時に測定している代替フロン類7物質についても2010年度調査結果をまとめた。

## 2 調査方法

### 2.1 調査地点

調査地点を図1に示す。一般環境調査地点として中原及び多摩一般環境大気測定局、自動車沿道調査地点として池上自動車排出ガス測定局、発生源周辺調査地点として大師一般環境大気測定局の計4地点である。

### 2.2 調査回数及び試料採取方法

#### 2.2.1 調査回数

毎月1回、年12回調査した。

#### 2.2.2 試料採取方法

内面をシリカコーティングしてある6Lの金属製容器(キャニスター)を加熱洗浄後に十分に減圧し、大気を毎

分約3mLの流量で24時間連続採取した。

### 2.3 調査対象物質

調査対象物質を表1に示す。調査物質は本分析方法により同時分析可能な優先取組物質9物質を含む、EPAの規定するTO-14メソッド<sup>2)</sup>を中心とした44物質及び代替フロン類7物質である。

### 2.4 測定装置及び分析方法

#### 2.4.1 測定装置

キャニスター洗浄装置：Entech 3100SL  
 試料濃縮・加熱脱着装置：Entech 7100A  
 GC/MS：Agilent 6890N / 5973inert

#### 2.4.2 分析方法

「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」<sup>1)</sup>による大気中のベンゼン等揮発性有機化合物の測定方法に準じて測定を行った。

測定モード：SCAN法 測定質量範囲： $m/z$ 25～ $m/z$ 280

GCカラム：Rtx-624 MSイオン化：EI

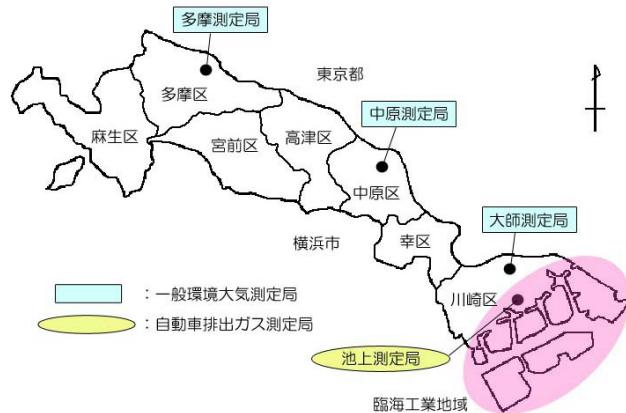


図1 調査地点

表1 調査対象物質

物質名	分子量	優先取組物質	特定フロン	代替フロン
CFC-12	120.91		○	
Chloromethane	50.49			
CFC-114	170.92		○	
Vinylchloride	62.50	○		
1,3-Butadiene	54.09	○		
Bromomethane	94.94			
Chloroethane	64.51			
CFC-11	137.37		○	
Acrylonitrile	53.06	○		
1,1-Dichloroethylene	96.94			
Dichloromethane	84.93	○		
3-Chloro-1-Propene	76.53			
CFC-113	187.38		○	
1,1-Dichloroethane	98.96			
cis-1,2-Dichloroethylene	96.94			
Chloroform	119.38	○		
1,2-Dichloroethane	98.96	○		
1,1,1-Trichloroethane	133.40			
Benzene	78.11	○		
Carbonotetrachloride	153.82			
1,2-Dichloropropane	112.99			
Trichloroethylene	131.39	○		
cis-1,3-Dichloropropene	110.97			
trans-1,3-Dichloropropene	110.97			
1,1,2-Trichloroethane	133.40			
Toluene	92.14			
1,2-Dibromoethane	187.36			
Tetrachloroethylene	165.83	○		
Chlorobenzene	112.56			
Ethybenzene	106.17			
m,p-Xylene	106.17			
Styrene	104.15			
1,1,2,2-Tetrachloroethane	167.85			
o-Xylene	106.17			
3-Ethyltoluene	120.19			
4-Ethyltoluene	120.19			
1,3,5-Trimethylbenzene	120.19			
1,2,4-Trimethylbenzene	120.19			
Benzyl chloride	126.59			
1,3-Dichlorobenzene	147.00			
1,4-Dichlorobenzene	147.00			
1,2-Dichlorobenzene	147.00			
1,2,4-Trichlorobenzene	181.45			
Hexachloro-1,3-butadiene	260.76			
HFC-134a	102.03		○	
HCFC-22	86.47		○	
HCFC-142b	100.50		○	
HCFC-141b	116.95		○	
HCFC-123	152.93		○	
HCFC-225ca	202.94		○	
HCFC-225cb	202.94		○	

### 3 調査結果

2010年度における各物質の年平均値を測定局別に表2に示す。

年平均値については、「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」<sup>1)</sup>に準じて算出した。すなわち、検出下限未満については、検出下限値の1/2の値とし、それ以上については測定値をそのまま採用して、算術平均値を求めている。表中の\*は、年平均値が測定した年度の検出下限値の最大値未満であることを示し、\*\*は、毎月の測定値すべてが検出下限値未満であることを示している。

#### 3.1 優先取組物質

測定している物質のうち、優先取組物質については、調査を開始した1997年度以降、概ね減少または横ばい傾向を示している<sup>3)</sup>。環境基準が設定されているジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びベンゼンの過去5年間の経年推移を図2～5に、また、指針値が定められている塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン、アクリロニトリル、クロロホルム及び1,2-ジクロロエタンの過去5年間の経年推移を図6～10に示す。2010年度は、すべての調査地点で環境基準を達成し指針値を下回っていた。

##### 3.1.1 環境基準が設定されている物質

ベンゼンについては、池上及び大師測定局の濃度が他の測定局に比べ高く、2006、2007年度は、池上測定局で

環境基準が非達成であったが、2008年度以降はすべての調査地点で環境基準を達成した。

ジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンについては、環境基準に比べ低濃度であり、調査地点間に大きな差ではなく、概ね減少傾向を示している。

##### 3.1.2 指針値が設定されている物質

塩化ビニルモノマーは、池上測定局の濃度が他の測定局に比べ高い傾向があるが、指針値に比べ低濃度で推移している。

1,3-ブタジエン、アクリロニトリルについては、池上及び大師測定局の濃度が他の測定局に比べ高い傾向がみられていたが、2010年度は他の測定局との差が小さくなり、減少傾向を示した。

クロロホルムについては、全調査地点で横ばい傾向を示している。

1,2-ジクロロエタンについては、2008年度から全調査地点で若干の増加傾向がみられるが、指針値に比べ低濃度となっている。

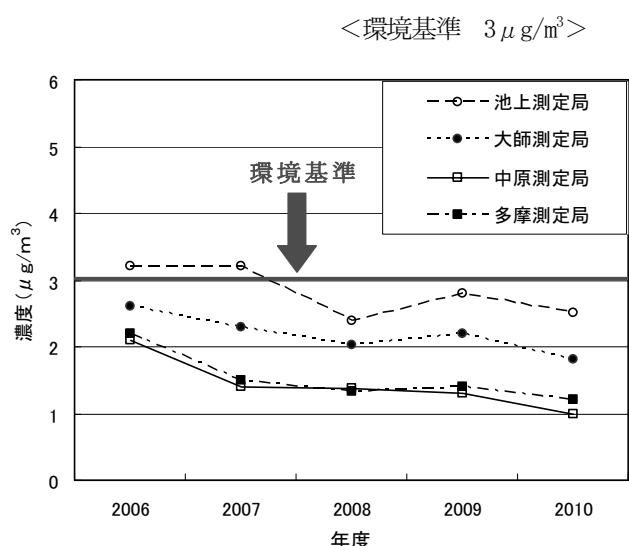
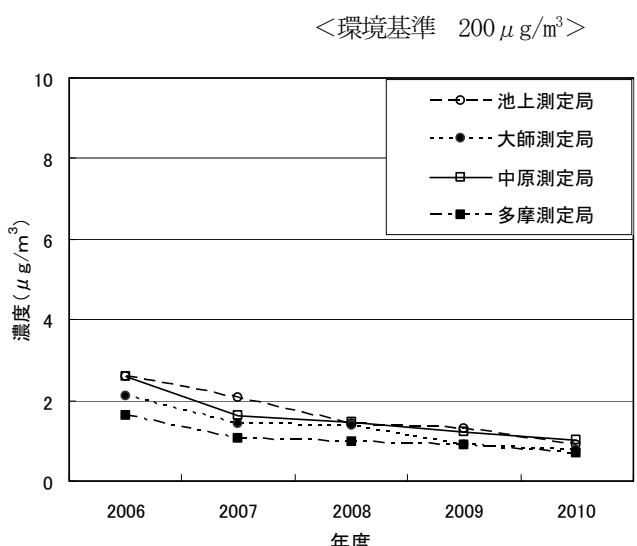
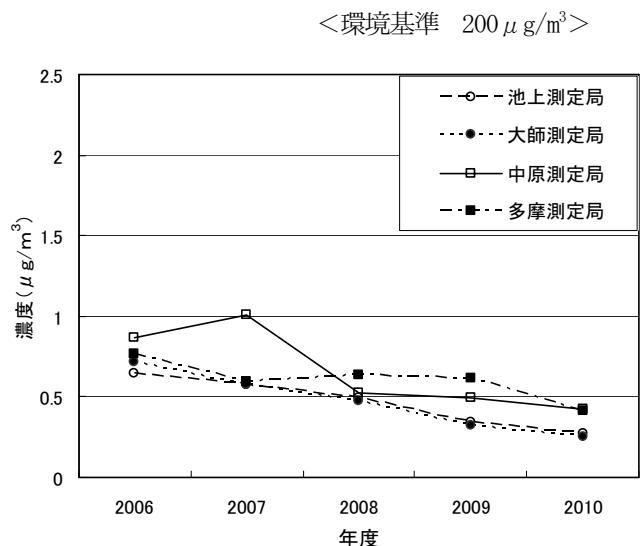
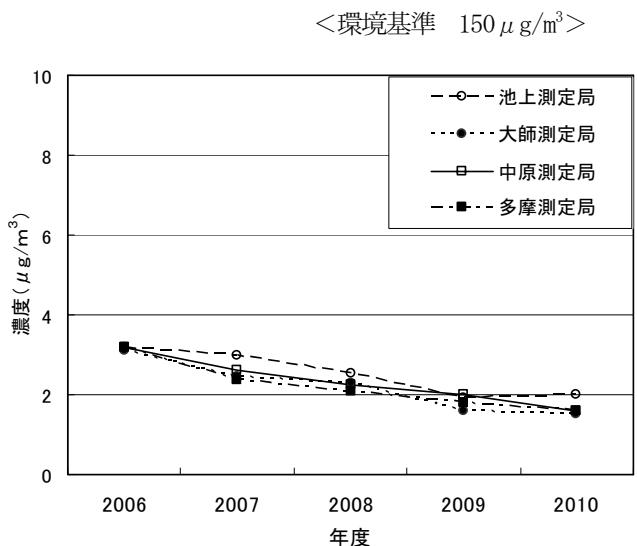
### 4 まとめ

環境基準及び指針値が設定されている物質について、2010年度は全調査地点で環境基準を達成し指針値を下回った。

今後も引き続き調査を継続しながら、各物質の濃度推移を確認し、有害大気汚染物質対策に活用していく。

### 文献

- 1) 環境省水・大気環境局大気環境課：有害大気汚染物質測定方法マニュアル（2011）
- 2) (U.S.)E.P.A : Compendium of Methods for the Determination of Toxic Organic Compounds in Ambient Air (1988)
- 3) 佐々田丈瑠、関裕樹、小林勉、西村和彦、小塙義昭：川崎市における大気中揮発性有機化合物調査結果（2009年度）、川崎市公害研究所年報、第37号、31～36（2010）



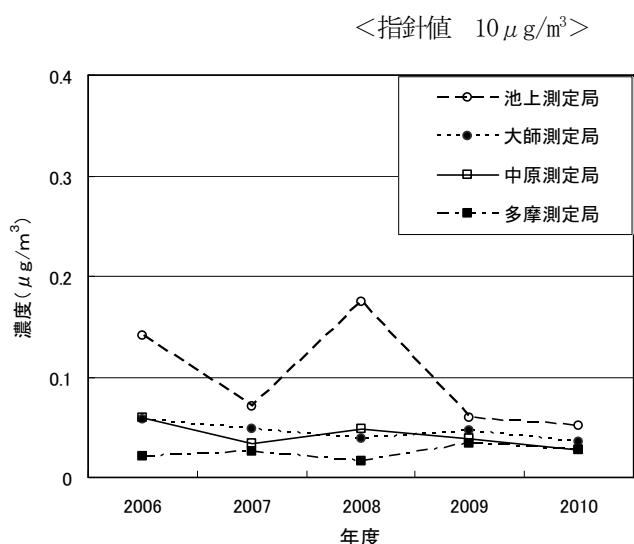


図6 塩化ビニルモノマーの経年推移

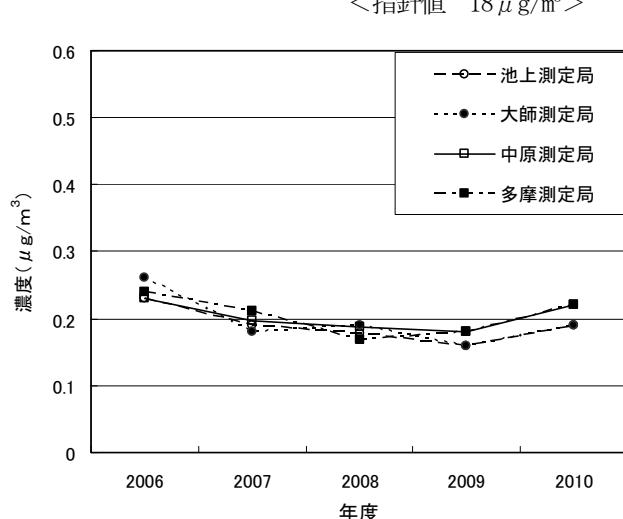


図9 クロロホルムの経年推移

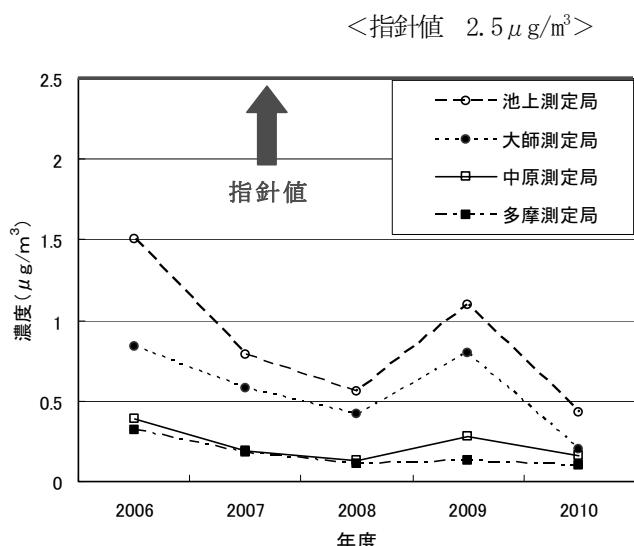


図7 1,3-ブタジエンの経年推移

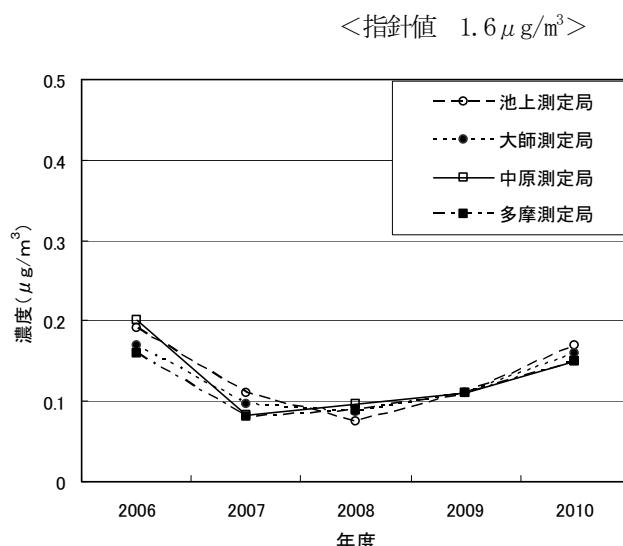


図10 1,2-ジクロロエタンの経年推移

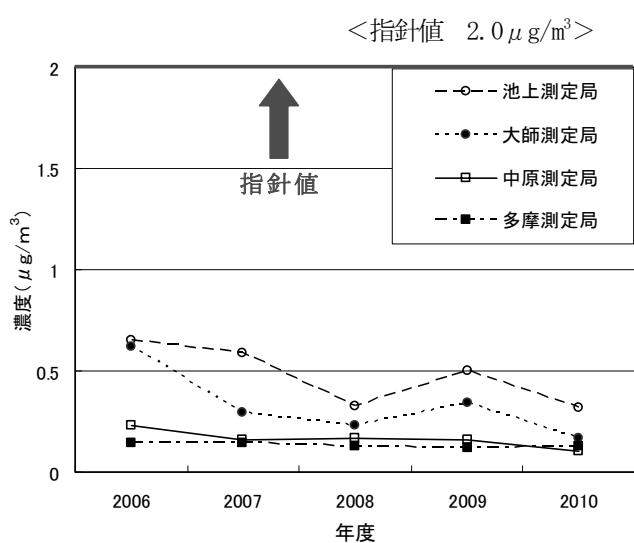


図8 アクリロニトリルの経年推移

表2 各測定局における揮発性有機化合物の2010年度調査結果

単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 

物質名	池上測定局	大師測定局	中原測定局	多摩測定局
	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値
CFC-12	2.6	2.6	2.6	2.6
Chloromethane	1.4	1.4	1.4	1.4
CFC-114	0.097	0.092	* 0.097	0.11
Vinylchloride	0.051	* 0.036	* 0.028	* 0.028
1, 3-Butadiene	0.43	0.20	0.16	0.098
Bromomethane	* 0.073	* 0.048	** 0.036	** 0.037
Chloroethane	** 0.031	* 0.038	* 0.034	** 0.030
CFC-11	1.6	1.5	1.4	1.4
Acrylonitrile	0.32	0.17	0.10	0.13
1, 1-Dichloroethylene	** 0.026	** 0.026	** 0.027	** 0.026
Dichloromethane	2.0	1.5	1.6	1.6
3-Chloro-1-Propene	** 0.024	** 0.023	** 0.023	** 0.023
CFC-113	0.52	0.53	0.55	0.55
1, 1-Dichloroethane	** 0.024	** 0.023	** 0.025	** 0.022
cis-1, 2-Dichloroethylene	** 0.030	** 0.029	** 0.029	** 0.030
Chloroform	0.19	0.19	0.22	0.22
1, 2-Dichloroethane	0.17	0.16	0.15	0.15
1, 1, 1-Trichloroethane	* 0.053	* 0.048	* 0.055	* 0.065
Benzene	2.5	1.8	1.0	1.2
Carbontetrachloride	0.52	0.52	0.52	0.55
1, 2-Dichloropropane	* 0.062	* 0.074	* 0.089	* 0.061
Trichloroethylene	0.90	0.78	1.0	0.70
cis-1, 3-Dichloropropene	* 0.042	** 0.028	** 0.029	* 0.034
trans-1, 3-Dichloropropene	** 0.034	** 0.033	** 0.034	** 0.032
1, 1, 2-Trichloroethane	** 0.048	** 0.047	** 0.046	** 0.046
Toluene	12	6.8	6.1	12
1, 2-Dibromoethane	** 0.045	** 0.044	** 0.042	** 0.042
Tetrachloroethylene	0.27	0.25	0.42	0.41
Chlorobenzene	* 0.032	** 0.028	** 0.030	** 0.028
Ethylbenzene	5.2	2.1	1.7	3.1
m, p-Xylene	4.2	1.9	1.6	4.3
Styrene	0.41	0.28	0.15	0.68
1, 1, 2, 2-Tetrachloroethane	** 0.043	** 0.042	** 0.041	** 0.042
o-Xylene	1.2	0.67	0.56	1.8
3-Ethyltoluene	1.1	0.55	0.52	0.75
4-Ethyltoluene	0.42	0.22	0.20	0.30
1, 3, 5-Trimethylbenzene	0.45	0.24	0.21	0.32
1, 2, 4-Trimethylbenzene	1.9	0.87	0.81	1.3
Benzyl chloride	* 0.039	** 0.038	** 0.038	** 0.036
1, 3-Dichlorobenzene	** 0.047	** 0.045	** 0.044	** 0.044
1, 4-Dichlorobenzene	0.62	0.84	0.95	1.1
1, 2-Dichlorobenzene	** 0.062	** 0.062	** 0.062	** 0.061
1, 2, 4-Trichlorobenzene	** 0.058	** 0.057	** 0.058	** 0.056
Hexachloro-1, 3-butadiene	** 0.071	** 0.069	** 0.068	** 0.067
HFC-134a	0.71	0.52	0.48	0.50
HCFC-22	1.8	1.5	1.5	1.6
HCFC-142b	0.14	0.11	0.12	0.13
HCFC-141b	0.33	0.23	0.22	0.24
HCFC-123	** 0.038	** 0.036	** 0.036	** 0.036
HCFC-225ca	** 0.041	** 0.039	* 0.050	* 0.042
HCFC-225cb	** 0.071	** 0.069	* 0.076	** 0.068

\*: 年平均値が測定した年度の検出下限値の最大値未満であることを示している

\*\*: 毎月の測定値がすべて検出下限値未満であることを示している